

## 編集後記

埼玉県環境科学国際センター報は、県民並びに関係諸機関に当センターの活動を紹介するための情報源としてだけでなく、環境情報の収集・発信のための媒体としての役割がある。当センターは平成12年4月に活動を開始しており、本報(第17号)は、17年度目に当たる平成28年度の活動を記録したものである。

平成28年4月には、大気化学や大気エアロゾルの研究に精通されている東京農工大学大学院の畠山史郎教授を総長に迎え、新たなスタートを切った。今後は、新総長を中心に、本県が直面する環境問題、国際的視点に立った調査研究、環境保全に取り組む県民の方々への支援等について、決意を新たに全力で取り組む所存である。

また平成28年度は、本県の環境基本計画が改定された。これに伴い、センターでは中期的な視点から取り組むべき研究の方向を示した研究所中期計画を見直した。今後の5年間に取り組む研究の目標として、「低炭素社会づくりに向けた新たなエネルギーの活用支援と気候変動対策」、「循環型社会づくりに向けた廃棄物対策と資源循環システムの構築」、「自然共生社会づくりに向けた河川、みどり、生物多様性の保全」、「環境保全型社会づくりに向けた大気・水・土壌環境の保全と災害対策の推進」を設定し、「持続可能な社会」の実現に向けて貢献していきたいと考えている。

本報は、印刷原稿の作成までをセンター全職員の参加により行ったものであるが、編集方針・内容の決定、具体的作業に当たっては、下記の編集委員会がその任を負った。

平成29年8月

編集委員一同

### 〈編集委員会〉

白石英孝(研究推進室長)	小林雅彦(事務局)
小沼友美(研究企画室)	茂木 守(化学物質担当)
松本利恵(研究推進室)	田中仁志(水環境担当)
嶋田知英(温暖化対策担当)	八戸昭一(土壌・地下水・地盤担当)
渡辺洋一(研究推進室)	
(協力者)	
米倉哲志(自然環境担当)	

**埼玉県環境科学国際センター報**

第17号 平成28年度  
平成29年8月31日発行

発行：埼玉県環境科学国際センター